

日米共同訓練（国内における米陸軍との実動訓練）の概要についてのお知らせ

陸上自衛隊が、以下のとおり国内における米陸軍との実動訓練（オリエント・シールド21）を実施しますので、お知らせします。

1 目的

陸上自衛隊及び米陸軍の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動により演練し、共同対処能力の向上を図る。

2 期間 令和3年6月18日（金）～7月11日（日）

3 場所 伊丹駐屯地、奄美駐屯地、明野駐屯地、経ヶ岬分屯基地、米軍経ヶ岬通信所、あいば野演習場、矢臼別演習場 等

4 担任官

(1) 日本側：中部方面総監 陸将 野澤 真

(2) 米軍側：在日米陸軍司令官 少将 ヴィエット X. ルオン

5 訓練実施部隊

(1) 陸上自衛隊

中部方面隊、第1特科団、中央特殊武器防護隊 等

(2) 米陸軍

在日米陸軍司令部、第40歩兵師団司令部、第17砲兵旅団、第28歩兵連隊第1大隊、第38防空砲兵旅団第1防空砲兵連隊第1大隊 等

これらの訓練内容のうち、矢臼別演習場で予定されている内容は次のとおりです。

①内容 陸自「多連装ロケットシステム（MLRS）」、
米軍「高機動ロケット砲システム（HIMARS）」による射撃訓練

②期間 令和3年6月28日（日）から7月4日（日）
うち射撃期間は、6月28日（日）から7月2日（金）までの5日間
ただし、天候状況により実施日を変更する場合があります。

③人員 陸自 約200名
米軍 約40名

問合せ先 ●陸上幕僚監部広報室 電話 03-3268-3111（内線 40082）

●別海町役場総務部総合政策課まちづくり推進担当

電話 0153-75-2111（内線 2211）